

リヤラダー AL 取付要領書

車名：デリカD:5 | 年式：07.01- | 適合：ALL |

このたびは、ジャオスの商品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

本書は「リヤラダー AL」の取り付けについて記載してあります。

商品を取り付けるまえに必ずお読みいただき、正しく取り付けを行ってください。

商品の取り付けには危険を伴う場合がございますので、専門知識を有する自動車用品販売店
または自動車整備工場での取り付けを推奨します。



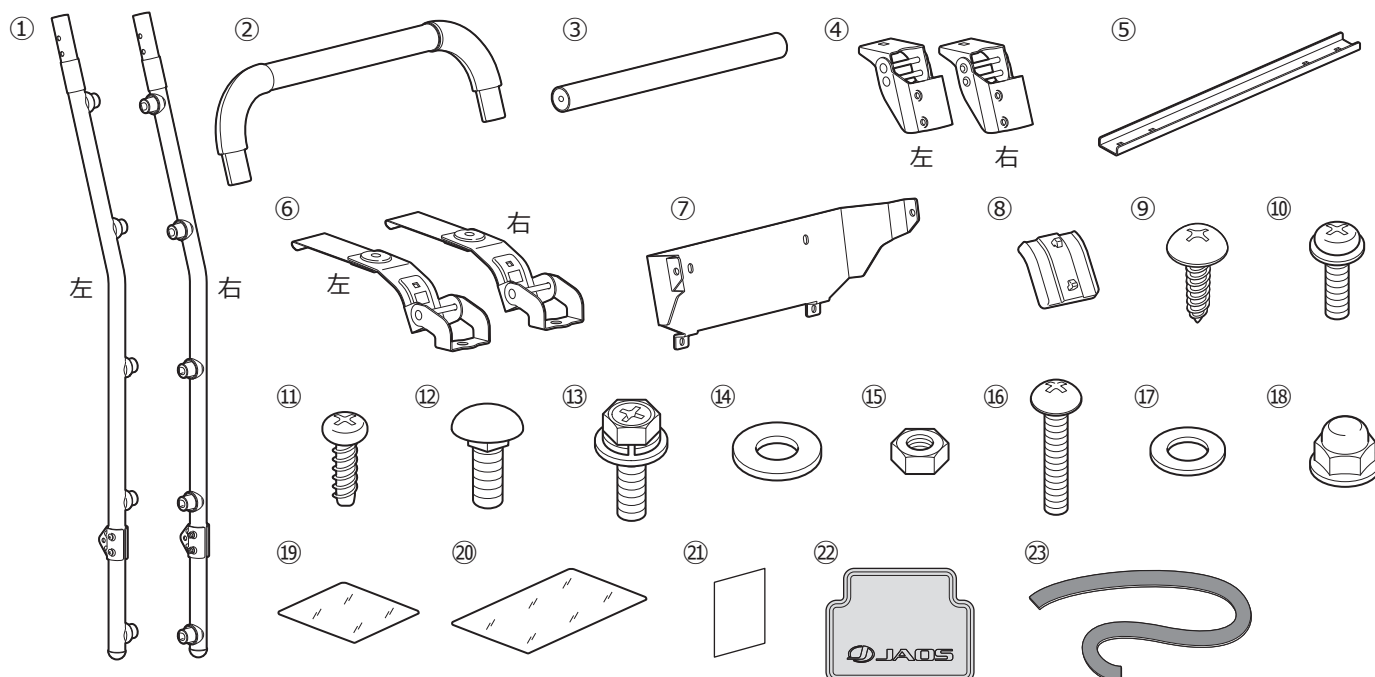
商品の取り付け完了後、本書を必ずお客さまにお渡しください。



取付参考時間：1.5時間

構成部品

※商品を取り付けるまえに商品の状態（破損や故障）と付属品の有無をご確認ください



■ 取り付けに必要な工具

☐ 一般工具 ☐ 保護シート ☐ 保護テープ ☐ 養生テープ ☐ マスキングテープ

No.	品名	個数	No.	品名	個数
①	フレームパイプ ASSY 左右	各 1	⑬	セムスボルト	2
②	グリップパイプ	1	⑭	ワッシャー (M8)	6
③	段パイプ	5	⑮	U ナット	6
④	アッパーブラケット A 左右	各 1	⑯	トラスボルト	4
⑤	アッパーブラケット B	1	⑰	ワッシャー (M6)	2
⑥	アッパーフック 左右	各 1	⑱	フランジ袋ナット	4
⑦	ロアブラケットベース	1	⑲	ガードフィルム A (90 × 70mm)	2
⑧	クッションパッド	2	⑳	ガードフィルム B (90 × 120mm)	2
⑨	タッピングスクリュー	2	㉑	コーションラベル	1
⑩	セムスナベ小ねじ	10	㉒	JAOS パイププロテクター	1
⑪	ナベ小ねじ	4	㉓	すべり止めテープ	1
⑫	角根ボルト	4			

取り扱い上のご注意

この取扱要領書で使用している表示の意味と内容

-  **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、生命の危険または重大な障害を負う可能性がある内容を示しています。
-  **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、事故による障害を負う可能性または物的損害が想定する内容を示しています。
-  **アドバイス** この表示は効率よく作業を行うために知っていただきたい内容を示しています。

商品は改良のため仕様および形状などを予告なく変更することがあります

取り付け作業を行うまえに

-  **警告** ●取り付ける車両の安全を確認・確保してください。
-  **注意** ●取付要領書を必ずお読みください。

安全に作業を行うために

-  **注意** ●純正部品の脱着は当該車両の修理書にしたがい作業を行ってください。
- 製品は丁寧に扱ってください。
- 作業に適した服装で作業を行ってください。

取り付けについて

-  **警告** ●必ず既定の締め付けトルクにて締め付けを行ってください。
-  **注意** ●取り付け後には必ず取り付け確認と走行テストを行ってください。

使用上の注意事項

-  **警告** ●設計荷重の範囲内で使用してください。
-  **注意** ●定期的な点検を行ってください。
- 薬品などの付着に注意してください。
- 路面とのクリアランスや環境変化による走行には十分ご注意ください。

中古品の売買および譲渡や廃棄について

-  **注意** ●同じ商品でも販売時期や仕様変更などにより内容が異なる場合があります。
- 商品や付属品が正確に判別することができない場合、お問い合わせに対しての回答内容は保証いたしかねますのでご了承ください。
- 商品に不具合が生じている場合はお買い求めの販売店や弊社にご相談ください。
-  **アドバイス** ●商品の破棄は専門家に相談してください。

保証について

- 初期不良の保証…お届けから1週間以内
商品の破損、不具合などトラブルがあった場合、初期不良の保証対象として修理、代品交換、返品を承ります。
- 製品保証…弊社オリジナル商品はご購入より1年間 ※ただし、期間内でも走行距離20,000kmまで
初期不良に該当する場合や一部消耗品を除き、購入履歴をお調べし規定に従い保証いたします。

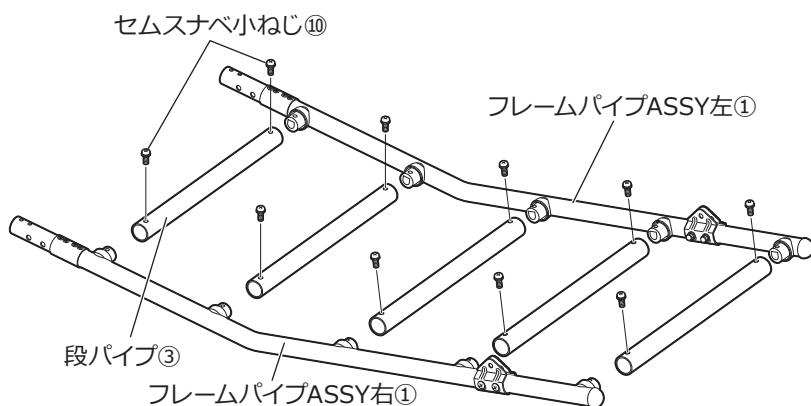
 保証についての詳細はJAOSオフィシャルサイトをご参照ください。【保証について】 www.jaos.co.jp/support/policy ▶



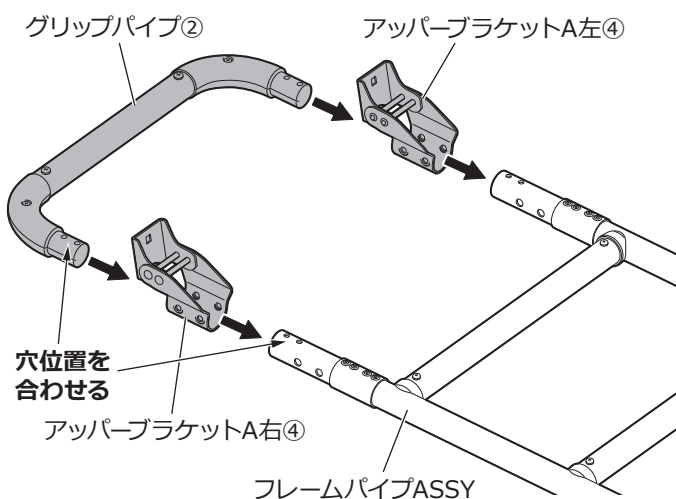
取付要領

※図中や文中の○数字は構成部品のナンバー ●数字は作業の順番を示しています

1. リヤラダー本体の組み立て

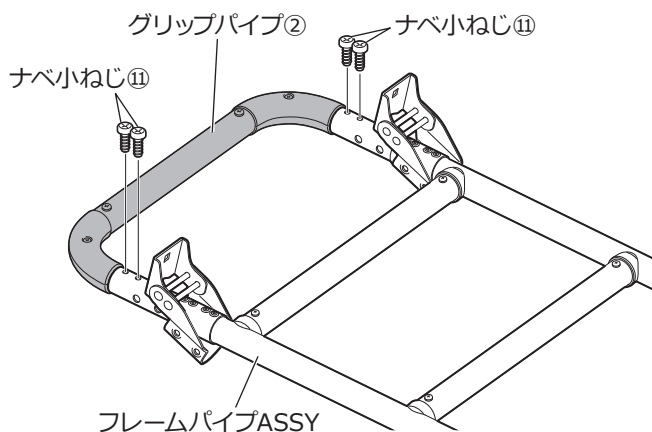


□フレームパイプASSY左①とフレームパイプASSY右①の5箇所段パイプ③を差し込み、穴位置を合わせてセムスナベ小ねじ⑩で固定します。

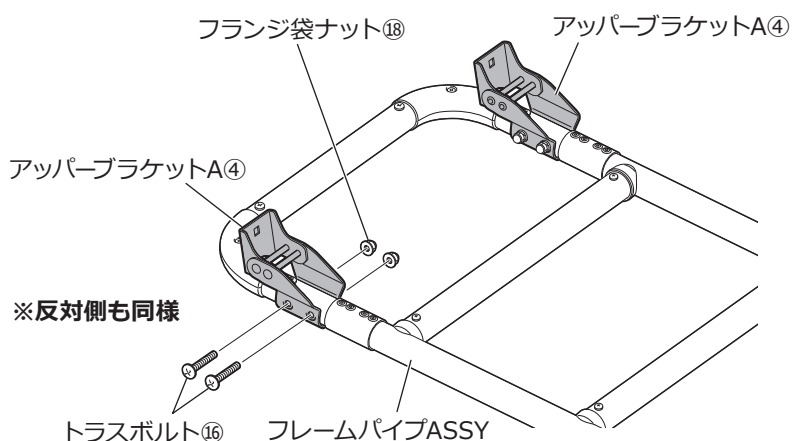


□先にアッパーブラケットA④をフレームパイプASSYに通し、そのあとグリップパイプ②を取り付けます。

⚠ 注意 アッパーブラケットA④には左右があるため、間違えないように取り付けてください。

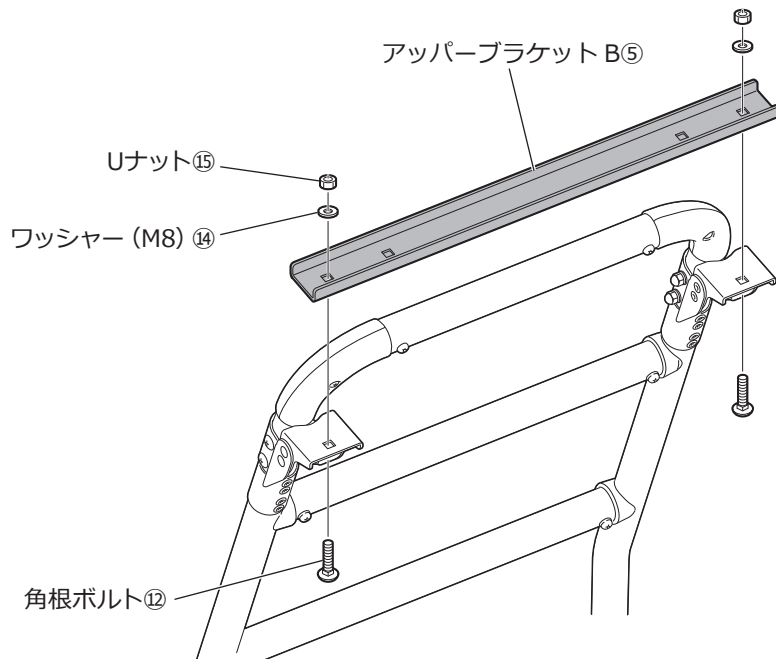


□グリップパイプ②とフレームパイプASSYをナベ小ねじ⑪で4箇所固定します。



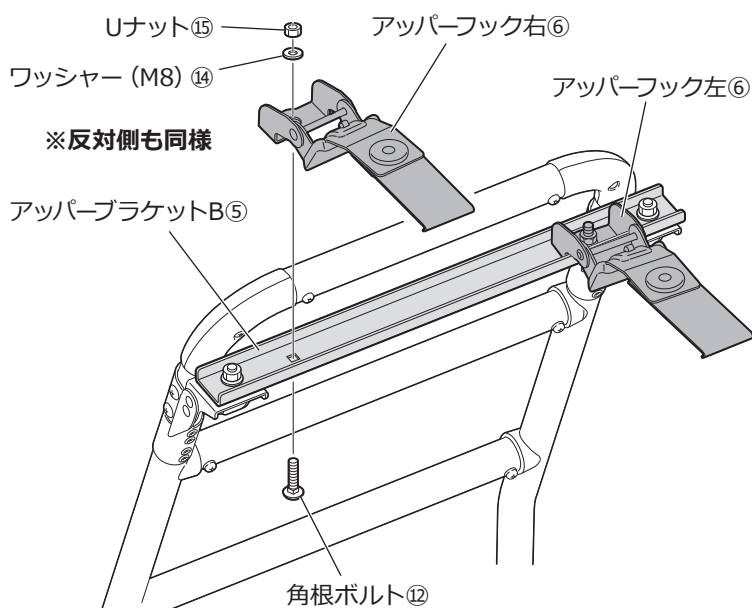
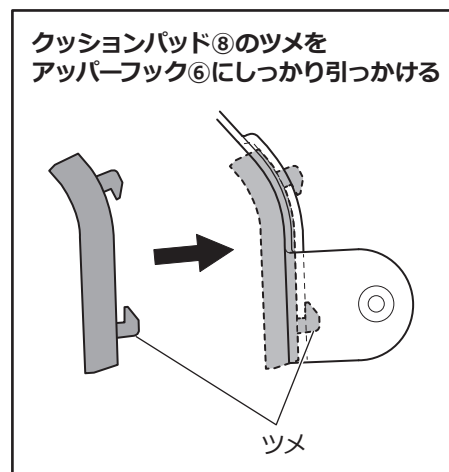
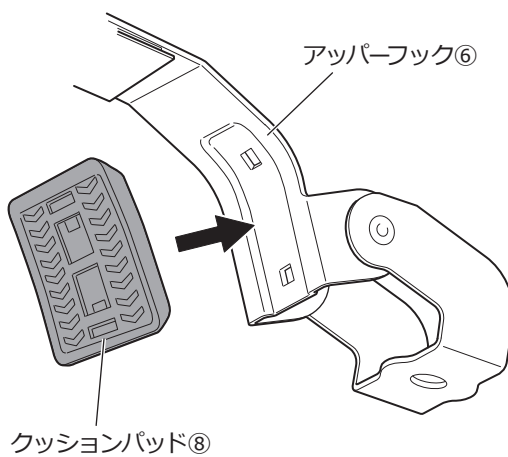
□外側からトラスボルト⑯を差し込み、内側からフランジ袋ナット⑱を使用して、アッパーブラケットA④をフレームパイプASSYに仮固定します。

👉 アドバイス 「仮締め・仮組み・仮固定」とは留めている物をほぼ固定し、少し調整できる程度の状態です。



□アッパーブラケット B ⑤をアッパーブラケット A ④に角根ボルト ⑫、ワッシャー (M8) ⑭、Uナット ⑮で仮固定します。

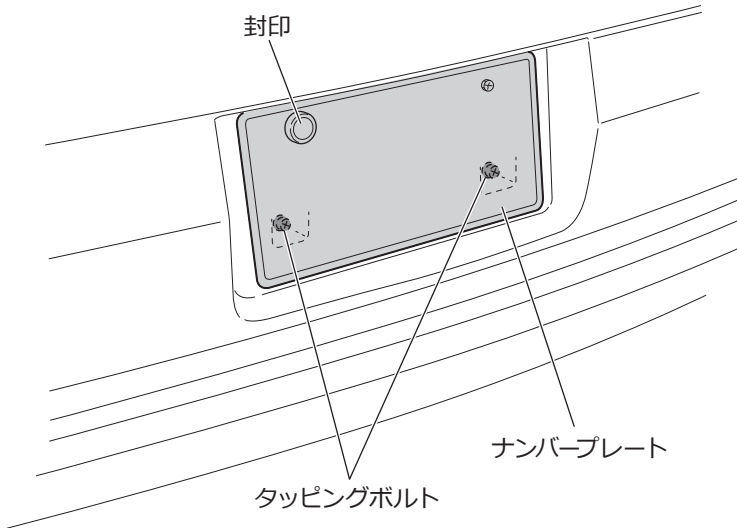
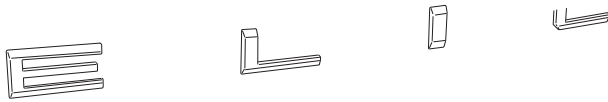
□アッパーフック ⑥ (2 個) にクッションパッド ⑧を取り付けます。



□アッパーフック ⑥をアッパーブラケット B ⑤に角根ボルト ⑫、ワッシャー (M8) ⑭、Uナット ⑮で仮固定します。

⚠ 注意 アッパーフック ⑥には左右があるため、間違えないように取り付けてください。

2. ロアブラケットベースの取り付け



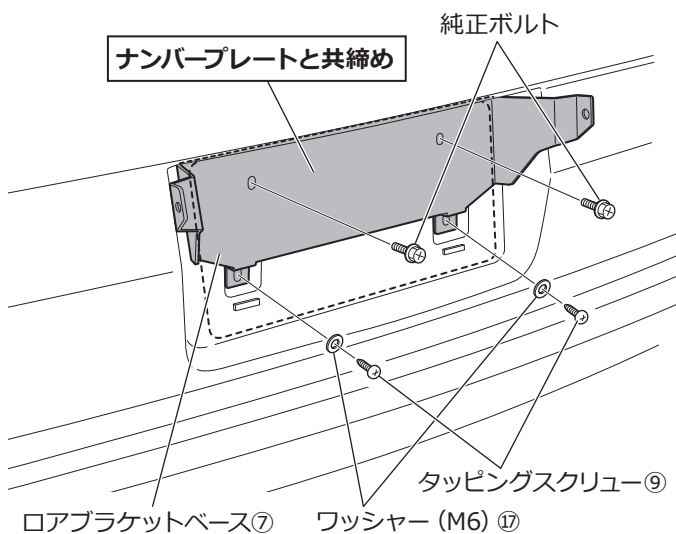
□車両からナンバープレート（封印も含む）と図示の純正タッピングボルトを取り外します。



注意

外したナンバープレートの封印については再利用できません。

そのため、運輸支局へ再封印の手続きが必要になりますので10ページの「自動車登録番号標再封印手続きの方法」を参照してください。



□ロアブラケットベース⑦の下部2箇所をワッシャー (M6) ⑰とタッピングスクリュー⑨で固定し、上部2箇所を純正ボルトを再使用し、ナンバープレートと一緒に共締めします。

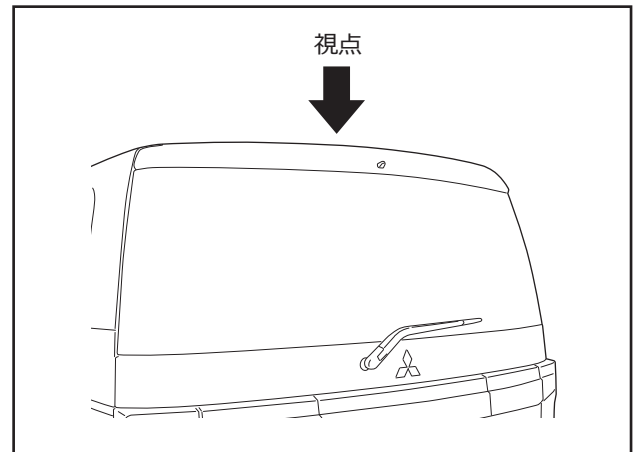
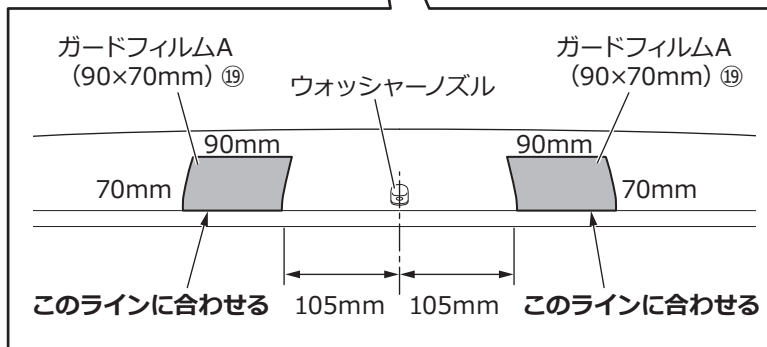
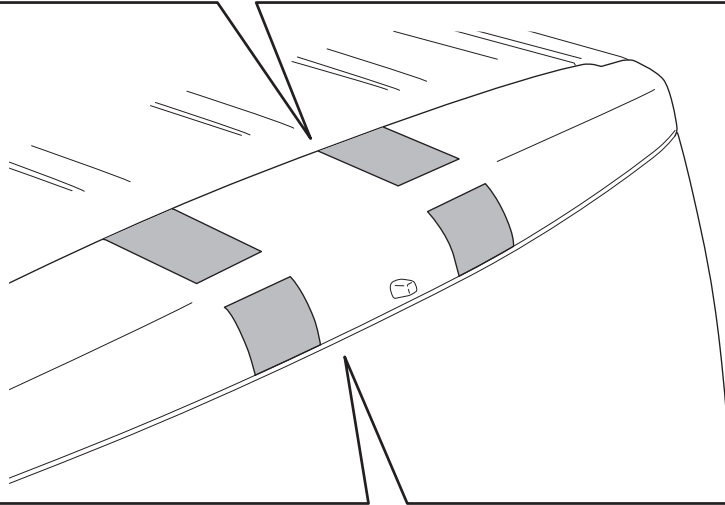
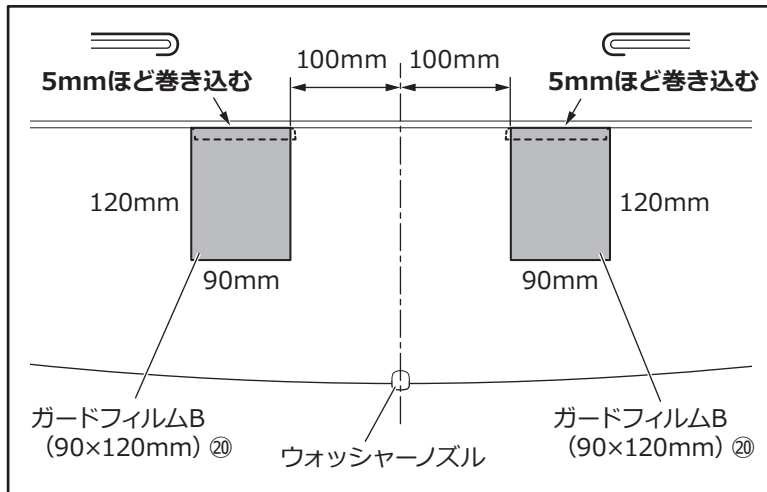
純正ボルト締め付けトルク [6~7N・m]



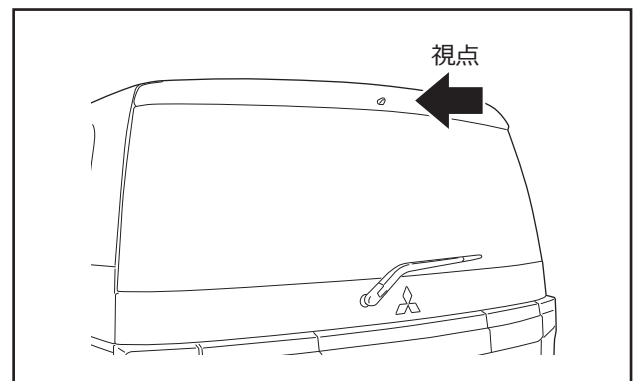
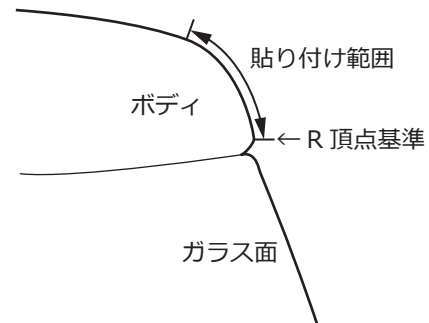
注意

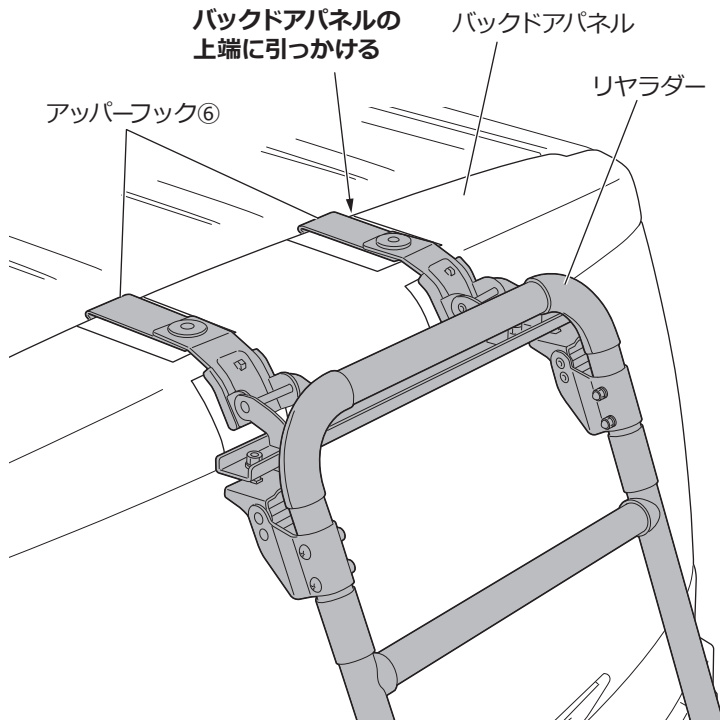
本体装着後、ナンバープレートの再封印が必要です。詳細は10ページで説明しています。

3. リヤラダー本体の取り付け

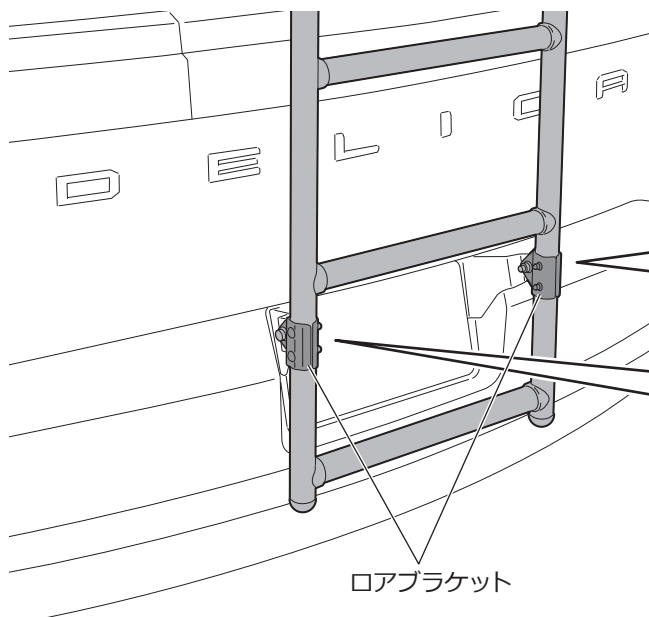


□ガードフィルムA ㉑/B ㉒の貼り付け面を清掃・脱脂し、
図の位置にガードフィルムA ㉑/B ㉒を貼ります。





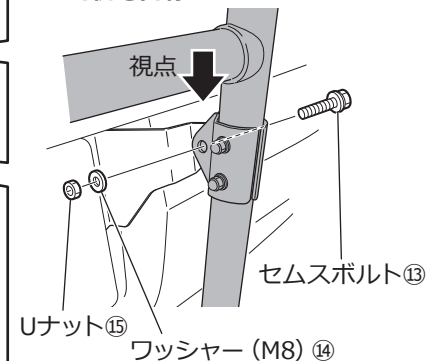
□アッパーフック⑥をバックドアパネルの上端に引っかけます。



□ロアブラケットの間にロアブラケットベース⑦を差し込み、セムスボルト⑬、ワッシャー (M8) ⑭、Uナット⑮で固定します。

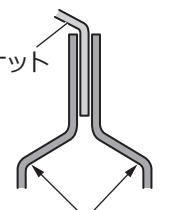
□アッパーブラケットA④とロアブラケットを仮固定しているトラスボルト⑯とフランジ袋ナット⑰を本締めします。

※反対側も同様

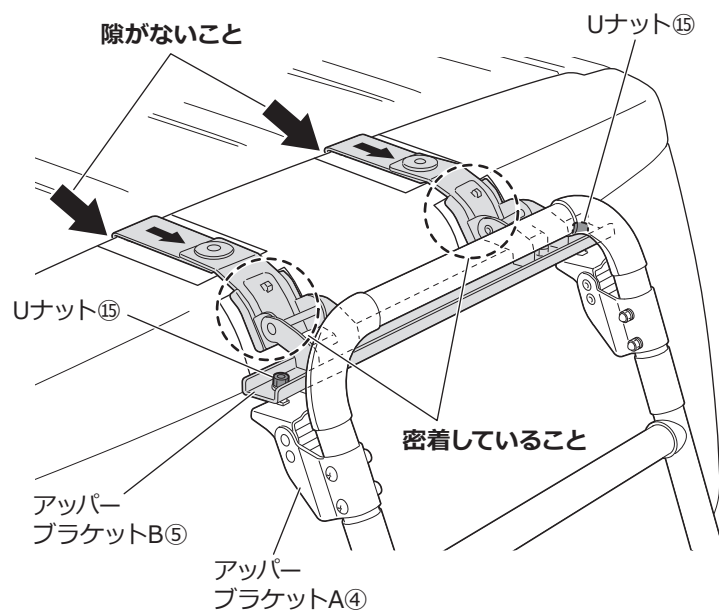


ロアブラケットの間に
ロアブラケットベース⑦を
差し込む

ロアブラケット
ベース⑦



ロアブラケット
く上から見た図>



□アッパーブラケットA④とアッパーブラケットB⑤を仮固定しているUナット⑮を本締めします。

※反対側も同様

Uナット⑮

- 車両全体を見てリヤラダー本体の取り付け状態を確認め、
 アッパーフック⑥を仮固定していたUナット⑮を本締めします。

**注意**

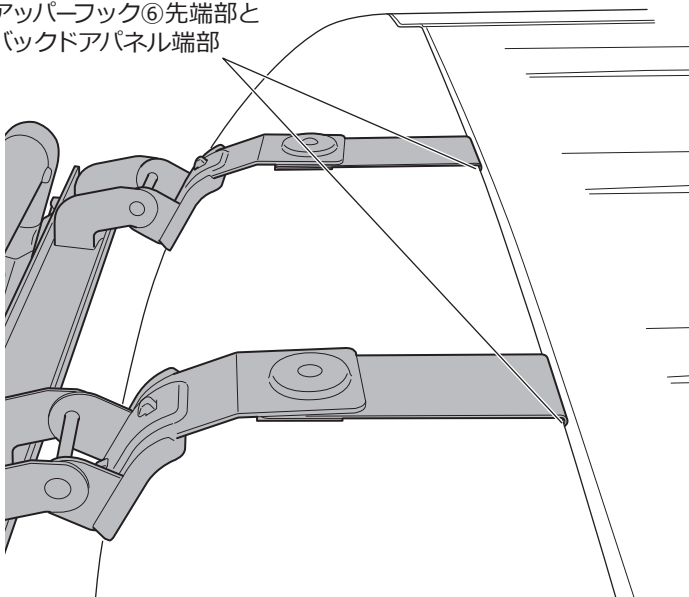
ナットを必要以上に締めすぎるとパネルが
 変形するおそれがあるため注意してください。

電動ドライバーは使用しないでください。

- すべてのボルト、ナットが本締めされていることを確認
 します。

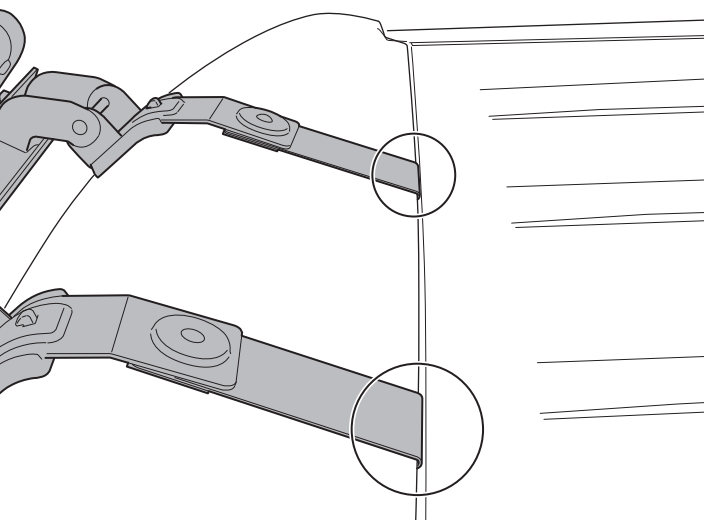
4. アッパーフックとルーフパネルのクリアランス確認

アッパーフック⑥先端部と
 バックドアパネル端部

**注意**

確認作業は必ず2名で行ってください。

- アッパーフック⑥先端部がバックドアパネル端部にす
 き間なく密着していることを確認してください。すき
 間がある場合は、前工程に戻りすき間が無い状態にし
 てください。

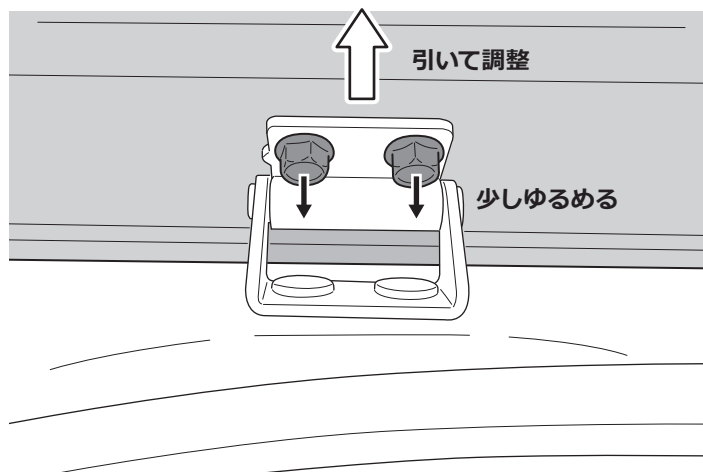


- アッパーフック⑥先端部とルーフパネル端部の**クリア
 ランスが確保されている状態**で、1人にクリアランスを
 確認してもらいながら、もう1人がバックドアパネルを
ゆっくり開けていき、ルーフパネル端部とアッパーフッ
 ク⑥先端部が干渉せずに開閉できることを確認してく
 ださい。

**注意**

干渉しそうな場合、作業を中断してバック
 ドアパネルを閉め、次項目の調整作業を必
 ず行ってください。

クリアランス確認・調整を行わずに開けた
 場合アッパーフック⑥先端部とルーフパネ
 ル端部が接触し、車体を損傷させるおそれ
 があります。



●バックドアパネルの調整方法

- 調整作業のため、取り付けたリヤラダーを一旦取り外します。
- バックドアパネルのヒンジのボルト（片側2点・左右計4点）を若干ゆるめ、バックドアパネルを水平にし、引っ張る方向に調整、ボルトの増し締めをします。
締め付けトルク [23～28N・m]

- 7ページ目の本締めに戻り、取り付けをします。
- 確認を再度行い、干渉しないことを確認してください。

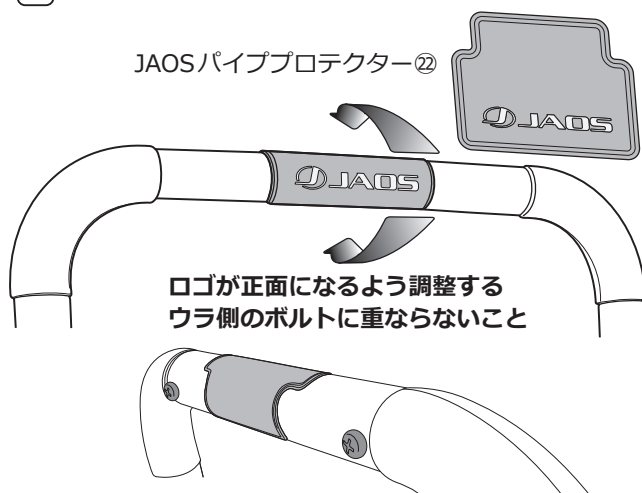


アドバイス

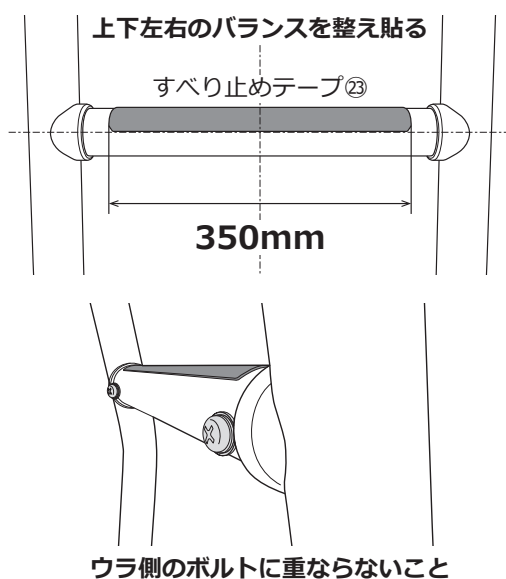
上記の調整作業でもクリアランスが確保できない場合は、無理に取り付けせず、整備工場や钣金塗装工場に調整作業を依頼してください。

5. パイププロテクターとすべり止めテープの貼り付け

A JAOSパイププロテクター②の貼り付け



B すべり止めテープ③の貼り付け



- 図Aの箇所を清掃・脱脂し、JAOSパイププロテクター②を貼り付けます。

- すべり止めテープ③を350mm×5枚にカットします。

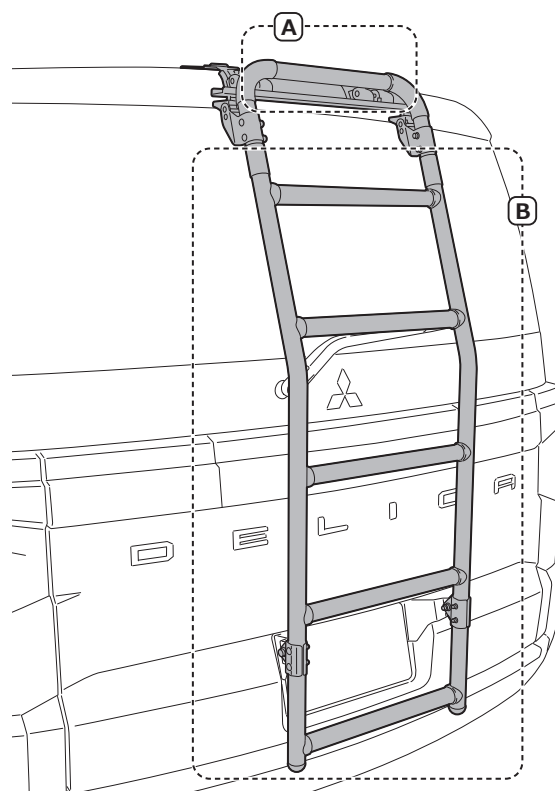
- 図Bの箇所を清掃・脱脂し、すべり止めテープ③を段パイプ③に上下左右のバランスを整え貼り付けます。



注意

JAOSパイププロテクター②とすべり止めテープ③はパイプ形状になじませるため、ドライヤーなどで温めてから作業を行ってください。

- コーションラベル④をリヤラダー本体、または近くの見やすい位置に貼り付けます。
※貼り付けない場合はいつでも見ることができるよう大切に保管してください。



自動車登録番号標再封印手続きの方法

都道府県によって手続きが異なる場合があるため、詳しくは各運輸支局にお問い合わせください。

●手続き例

1. 運輸支局に行き「自動車登録番号標の再封印申請書」を記入し、車検証と一緒に運輸支局に提出し、受付印をもらいます。
2. ナンバーセンターに行き、受付印の押された再封印申請書と車検証を提出し封印を購入します。
3. ナンバーセンターの職員による車体ナンバー確認後、封印をしてもらいます。

取り付け状態の確認



注意

作業完了後は必ず取り付け確認を行ってください。ボルトの締め忘れなどにより本体が脱落するおそれがあります。ありたいへん危険です。

装着後の取り扱いについて



警告

取付要領書に記載されていない取り付けおよび使用方法是絶対に行わないでください。

本製品をゆがんだ状態で取り付け走行すると風圧や振動により脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。取付要領書に記載されている取り付け内容をよく理解しご注意ください、取り付け位置を厳守し車両に対して傾きがないことを必ず確かめてください。

法定速度を超えた連続高速走行や悪路走行をすると、各締め付け部のボルトのゆるみが発生する場合があります、風圧や振動により本製品が脱落し後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。法定速度を守り、悪路では速度を落として走行してください。

本製品は荷物を積載する装置ではありませんので、荷物の積載は絶対にしないでください。

本製品を車両に取り付けた状態でのリヤゲート開閉は十分に注意してください。リヤゲートが急に閉じて人が挟まるなど重大な事故が起こるおそれがあります。



注意

本製品装着時の急ハンドル、急発進、急ブレーキは避け、運転には十分ご注意ください。とくに、急ブレーキや悪路走行は運転特性を損なうことがあるため、スピードは十分に抑えて走行してください。

各締め付け部は使用頻度により緩む可能性があるため定期的（100km 走行毎を目安）にボルトの締め付け具合や取り付け状態に異常がないこと確かめ、必要に応じて増し締めを行ってください。とくに、悪路や高速走行前後、また頻繁なリヤゲートの開閉後には必ず点検してください。

車両を後退する際は本製品の必要スペースを考慮し障害物などに十分ご注意ください。必ず目視で後方スペースを確かめ安全な状態で後退してください。

本製品装着時に悪路走行や段差の乗り越えなどで車両に強い衝撃が加わると、衝撃でリヤゲートが変形するおそれがあります。悪路走行や段差の乗り越えなどをする際は、十分にスピードを落としてください。

本製品の最大荷重は80kg です。それ以上の荷重をかけると変形や事故の原因になるためご注意ください。

本製品昇降時に過度な衝撃を与えるとリヤゲートが変形するおそれがあるためご注意ください。昇降の際は80kg 以内の荷重でも、ゆっくりと慎重に行ってください。

本製品を装着したまま自動洗車機は絶対に使用しないでください。本製品が脱落し車両を破損させるおそれがあります。洗車は手洗いで行ってください。

- 本製品の取り付け、取り扱いにつきましてご不明な点がございましたらお買い求めの販売店や弊社にご相談ください。
- 記載事項を守らず発生した不具合や事故につきましては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。